

児童虐待認定状況等について（令和3年度）

札幌市児童相談所における令和3年度の児童虐待認定件数は2,402件。前年度(2,562件)から160件(6.2%)減少。身体的虐待は若干増加(前年度比24件、5.0%増)したものの、ネグレクト(同40件、6.9%減)及び心理的虐待(同148件、10.0%減)は減少。

また、心理的虐待(1,329件)のうち、面前DVに伴うものは1,085件で、81.6%を占めている。

1 児童虐待認定の状況

(1) 虐待の内容

(単位:人)

	身体的虐待	性的虐待	ネグレクト	心理的虐待	合計	増減率
元年度	508 21.2%	16 0.7%	538 22.4%	1,339 55.8%	2,401 100.0%	-
2年度	481 18.8%	21 0.8%	583 22.8%	1,477 57.7%	2,562 100.0%	6.7%
3年度	505 21.0%	25 1.0%	543 22.6%	1,329 55.3%	2,402 100.0%	-6.2%

(2) 被虐待児の年齢構成

(単位:人)

	3歳未満	3歳～就学前	小学生	中学生	高校生・その他	合計
元年度	509 21.2%	517 21.5%	841 35.0%	354 14.7%	180 7.5%	2,401 100.0%
2年度	459 17.9%	654 25.5%	882 34.4%	377 14.7%	190 7.4%	2,562 100.0%
3年度	411 17.1%	578 24.1%	873 36.3%	363 15.1%	177 7.4%	2,402 100.0%

(3) 主な虐待者

(単位:人)

	実父	実父以外の父親	実母	実母以外の母親	その他	合計
元年度	1,115 46.4%	181 7.5%	1,038 43.2%	11 0.5%	56 2.3%	2,401 100.0%
2年度	1,124 43.9%	188 7.3%	1,184 46.2%	8 0.3%	58 2.3%	2,562 100.0%
3年度	1,042 43.4%	215 9.0%	1,072 44.6%	14 0.6%	59 2.5%	2,402 100.0%

2 通告受付の状況

令和3年度の児童虐待通告件数は1,845件であり、昨年度から233件(11.2%)減少。虐待として認定した件数(1,050件)も減少(前年度比113件、9.7%減)。

通告経路では、警察からのものが958件と最多(面前DVに伴う心理的虐待の通告によるものが多い)。

(1) 児童虐待通告受付件数

(単位:世帯)

	通告件数	増減率	通告のうち虐待認定件数
元年度	2,100 (197)※1	-	1,014 (5)※2
2年度	2,078 (192)※1	▲1.0%	1,163 (8)※2
3年度	1,845 (195)※1	▲11.2%	1,050 (3)※2

※1 ()は、児童相談所から各区に調査を依頼した件数で内数。

※2 ()は、児童相談所から各区に調査を依頼した案件において、区が虐待と認定した件数で内数。

(2) 児童虐待通告経路

(単位:世帯)

	家族			親族	児童本人	近隣・知人	福祉事務所・児童委員等	保健センター等	保育所・児童福祉施設等	医療機関	学校等	警察	その他	合計
	父	母	その他											
元年度	29	18	9	29	14	598 (197)※1	19	8	22	28	107	1,150	69	2,100 (197)※1
	2.7%			1.4%	0.7%	28.5%	0.9%	0.4%	1.0%	1.3%	5.1%	54.8%	3.3%	100.0%
2年度	13	10	1	30	21	567 (192)※1	44	4	33	28	83	1,187	57	2,078 (192)※1
	1.2%			1.4%	1.0%	27.3%	2.1%	0.2%	1.6%	1.3%	4.0%	57.1%	2.7%	100.0%
3年度	12	15	4	22	20	564 (195)※1	22	8	35	23	119	958	43	1,845 (195)※1
	1.7%			1.2%	1.1%	30.6%	1.2%	0.4%	1.9%	1.2%	6.4%	51.9%	2.3%	100.0%

※1 ()は、児童相談所から各区に調査を依頼した件数で内数。

※ 本資料において、計数(割合の部分)は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。